

3月上旬～全世界帯に配布開始

新しくなりました



リニューアル
しました

いなぎ防災ガイド

防災課防災係 ☎377-7119

保存版

いなぎ 防災 ガイド



防災情報をアプリで確認
稲城市防災アプリ

iOS

Android



防災情報を配信します
稲城市メール配信サービス

メール

LINE

防災行政無線を聞き逃したときには
防災行政無線専用テレホンサービス
☎0800-800-9991 (フリーダイヤル)

稲城市 令和8年(2026年)3月発行

災害に備える

- 自助・共助・公助 1
- 備蓄品・非常持出品 3
- 家の備え 5
- 情報収集 9
- 地域防災力の向上 11
- 要配慮者への支援 15
- 応急給水 17
- 稲城市消防団/稲城市防災訓練 18

地震

- 地震を知る 19
- 地震発生時の行動 23

風水害・土砂災害

- 風水害・土砂災害を知る 25
- 避難情報・気象情報の確認 27
- 風水害・土砂災害時の行動 29
- 台風への備え 31

その他の災害

- 雪害・火山災害 33
- その他 34

避難生活

- 避難時の心得 35

生活再建

- 被災支援を受けるために 37

防災マップ・ハザードマップ

- 避難所・避難場所【震災】 39
- 防災マップ(分割図1~5) 41
- 避難所・避難場所【風水害】 51
- 多摩川洪水ハザードマップ 53
- 三沢川洪水ハザードマップ 55
- 内水ハザードマップ 57
- 土砂災害ハザードマップ 59
- ハザードマップ(分割図1~5) 61

日頃の防災対策や災害発生時の避難行動、地域の危険箇所が確認できる「いなぎ防災マップ」が「いなぎ防災ガイド」として新しくなりました。

家庭や地域の防災活動等にご活用ください。

リニューアルの ポイント

防災マップがより見やすく！

地図の縮尺を大きく、地区別に色分けしています。



最新の防災情報を掲載

市内の地震被害想定、震度分布図、液状化予測図等を最新の情報に更新しています。

また、5月下旬に運用を開始する新たな防災気象情報についても掲載しています。

役立つ防災情報をボリュームアップ！

トイレ対策、ペット対策、通電火災対策、要配慮者支援、応急給水等、情報をボリュームアップしています。

通電火災対策

通電火災は、私電・私鉄線路や有線電話線・放送のケーブル・送電線、配線が再燃発火にシフトする等が発生します。通電火災を防ぐためには「通電ブレーカー」が有効です。

通電ブレーカー
「通電ブレーカー」は、電線等に異常発生時の断電を機能したときに、ブレーカーユニットなどを自動的に開閉する装置です。「通電ブレーカー」には、分電盤やコンセントに設置するタイプがあります。

分電盤タイプ(内蔵型) 分電盤タイプ(取付型) コンセントタイプ 機器タイプ

分電盤に内蔵されたタイプです。分電盤に設置機器を内付けするタイプです。コンセントに設置機器を内蔵したタイプです。分電盤の通電ブレーカーやアンペアブレーカーのユニットに設置するタイプです。

通電ブレーカー設置の留意点
● 通電ブレーカーは、私電・私鉄線路や有線電話線・放送のケーブル・送電線、配線が再燃発火にシフトする等が発生する可能性がある場合に、必ず設置してください。
● 設置の際は、必ず専門業者による設置が必要です。
● 設置の際は、必ず専門業者による設置が必要です。

ペット対策

大規模な地震にペットを守るには、事前の準備が必要です。その中で、ペットの安全確保が最も重要です。また、避難場所確保やペットの安全確保に役立つグッズがあります。

日頃の備え
● 避難場所の確保
● 避難場所の確保
● 避難場所の確保

避難時の備え
● 避難時の備え
● 避難時の備え
● 避難時の備え

避難情報と取るべき行動

避難情報(市が発布)

避難情報(市が発布)とは、市内の危険箇所や避難場所の状況、避難行動の目安などを示す情報です。避難情報(市が発布)は、避難情報(市が発布)に基づいて、避難行動の目安を決定します。

避難情報(市が発布)の種類

避難情報(市が発布)	取るべき行動
避難情報(市が発布) 1	避難情報(市が発布) 1
避難情報(市が発布) 2	避難情報(市が発布) 2
避難情報(市が発布) 3	避難情報(市が発布) 3
避難情報(市が発布) 4	避難情報(市が発布) 4
避難情報(市が発布) 5	避難情報(市が発布) 5

災害情報・地域情報をお知らせ!

稲城市メール配信サービス

秘書広報課 広報広聴係

登録は、空メールを送信!

稲城市メール配信サービス

- 寝具・衣類等は、防災品を使用する
- 消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問等により、地域ぐるみの防火対策を行う
- ☎ 377-7119 防災課 指導係

3月1日～7日は 春季全国火災予防運動

冬から春にかけて空気が乾燥し火災が起きやすい季節です。火の取り扱いには十分に注意し火災を予防しましょう。

住宅防火のちを守る 10のポイント

- 寝たばこは絶対にしない
- ストープのそばに燃えやすい物を置かない
- コンロを使う時は火のそばを離れない
- コンセント周りは清掃し、不要なプラグは抜く
- コンロ等は安全装置が付いた物を使用する
- 住宅用火災警報器を定期的な点検し、10年を目安に交換する
- 寝具・衣類等は、防災品を使用する
- 消火器等を設置し、使い方を確認しておく
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問等により、地域ぐるみの防火対策を行う

